

基本目標 I | 市民による市民のためのまち

人口が減少する中、市民同士のつながりや市民と行政との連携により、協働のまちづくりが推進され、多くの市民が各々の個性を活かし、まちづくりの主角となって活躍しています。多様な地域コミュニティが活性化し、地域の連帯感が増し、市民は、自分たちの生活環境を柔軟な発想でコーディネートしながら豊かな生活を送っています。

特に、行政により、将来を見据えた「選択と集中」の行政運営が進められ、財政基盤の強化や、資産の適切な管理・運用が行われた一方、市民起点の柔軟な発想を積極的に取り入れたことにより、市内の様々な資源が有効活用され、持続的に発展可能な希望を持てる都市になっています。



未来日記 ~2025年の恵庭~

30歳代前半で家を買って、恵庭市に引っ越してきてからもう40年近くになります。

引っ越してきた当時は、札幌勤務だったのですが、仕事一筋だったので、家は寝るための場所で、子育てもほとんど妻に任せっきりで、いろいろ迷惑をかけてきました。

10年前、「仕事もそろそろリタイアだな。これから何しようか」と考えている時に、ちょうど世の中では「人口減少だ。地方都市が消滅していく!!」と騒がれていたのを覚えています。

少々不安はあったのですが、恵庭は、居住環境も良いし、子どもたちもここで育って愛着があるだろうと思って、ここに住み続けることに決めました。ただ、決めたのはいいものの、恵庭でも、行財政運営の効率化や、施設の統廃合を進めるということを知り、リタイア後を本当に楽しめるのかはやはり不安でした。

リタイアしてすぐは、まず妻と一緒に楽しめるものを趣味にしようと思い、妻の趣味のガーデニングを手伝っていたんです。しばらくは力仕事を手伝うだけだったのですが、すぐに熱が上がってしまって、今では、野菜も植えて、子どもにも毎年送るようになっています。

一度熱が上がると、とことんやりたい性分なので、恵庭市の市民団体がやっている講習会などにも通って勉強し始めました。ただ、しばらくしたら、最寄りの公共施設がなくなって、改修された隣の公共施設に講習会も移るということになったんです。その施設も時々行っていたのですが、講習会に行くくらいで、特に印象に残っていませんでした。「これが一時期騒がれていたことだな。恵庭もそういう

地域になったのか」と思っていたのですが、しばらくして、また講習会に行ってみると、その施設が、いろんな人が利用する施設に生まれ変わっていたんです。びっくりしました。いろいろな情報交換もできたりしますし、小さい子も遊んでいたりして、孫を見ているようで楽しくなっていました。

何回か通っていると、そこで仲良くなった知人に「私たちの地域のまちづくりについて、市役所の職員と話す機会があるからぜひ来てほしい」と誘われまして、一度行ってみました。その場では、私の職歴の視点から思うことをただ言っただけなのですが、職員の方がすぐ動いてくれまして、「ぜひ、うちの地域でその取組をやってみよう」という話になったんです。迅速だったので驚きました。発言したこともあり、その取組にも関わるようになりましたが、市役所からいろいろな情報も発信されてきて、相談にも乗ってくれますし、またすぐに熱が上がってしまいました。今ではガーデニングと地域活動の掛け持ちで大忙しです。

恵庭は市民満足度の高いまちだと聞いていましたが、こういうことですね。みんな、自分たちで楽しんで自分たちのまちを作り上げているんだと思います。

